

2016年9月8日 全3頁

Indicators Update

7月国際収支統計

輸出数量減少と第一次所得収支受取減少が黒字幅縮小要因に

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 齋藤 勉
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2016年7月の国際収支統計によると、経常収支は1兆9,382億円と、25ヶ月連続の黒字となった。季節調整値で見ると、経常収支は1兆4,478億円と28ヶ月連続の黒字となったが、前月から黒字幅が2,006億円縮小した。7月には、輸出数量の減少を受けて貿易収支の黒字幅が縮小したこと、円高に伴う第一次所得収支の受取の減少などが、経常収支黒字幅縮小要因となった。
- 先行きの経常収支は、緩やかな黒字幅拡大を見込んでいる。足下で輸出数量に底入れの兆しが見られていることなどから、貿易収支の黒字幅は緩やかな拡大基調が続くとみている。国際的な金利低下や円高を受けて第一次所得収支の黒字幅は緩やかに縮小傾向が続いているが、為替レートの変動が落ち着けば、所得収支は横ばい圏での動きが続く公算が大きい。また、旅行収支の黒字幅拡大基調には頭打ち感が見られているほか、産業財産権等使用料の受取金額も低調に推移しているなど、サービス収支の赤字幅が大幅に縮小するという事も考えにくい。経常収支黒字幅の本格的な拡大には時間を要するだろう。

図表1：国際収支統計の概況(原系列)

(億円)	2016年7月	2015年7月	前年同月差
経常収支	19,382	17,938	+ 1,443
貿易・サービス収支	3,917	▲ 2,947	+ 6,864
貿易収支	6,139	▲ 880	+ 7,020
輸出	55,515	65,816	▲ 10,301
輸入	49,375	66,696	▲ 17,321
サービス収支	▲ 2,223	▲ 2,067	▲ 156
第一次所得収支	16,938	22,164	▲ 5,226
第二次所得収支	▲ 1,473	▲ 1,279	▲ 194

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出数量減少と第一次所得収支受取減少が黒字幅縮小要因に

2016年7月の国際収支統計によると、経常収支は1兆9,382億円と、25ヶ月連続の黒字となった。季節調整値で見ると、経常収支は1兆4,478億円と28ヶ月連続の黒字となったが、前月（6月：1兆6,484億円）から黒字幅が2,006億円縮小した。

7月には、輸出数量の減少を受けて貿易収支の黒字幅が縮小したこと、円高に伴う第一次所得収支の受取の減少などが、経常収支黒字幅縮小要因となった。

貿易収支～輸出数量減少で貿易収支黒字幅縮小

貿易収支は6,139億円の黒字となり、前年同月から黒字幅が7,020億円拡大した。季節調整値で見ると、3,616億円の黒字となり、前月（6月：4,658億円の黒字）から黒字幅が1,042億円縮小した。7月には、一般機械などを中心に輸出数量が減少したことが、貿易収支黒字幅の縮小要因となった¹。

サービス収支～支払の減少で赤字幅が前月から縮小。旅行収支は頭打ち

サービス収支は▲2,223億円の赤字となり、前年同月から赤字幅が156億円拡大した。季節調整値で見ると、▲1,074億円の赤字となり、前月（6月：▲2,148億円の赤字）から赤字幅が1,074億円縮小した。円高を背景に、その他サービスの支払が減少したことが赤字幅縮小の主因であるとみられる。一方、円高、日本企業の海外活動不振等を背景に、産業財産権等使用料の受取は減少傾向が続いている。また旅行収支（季節調整値）は、1,087億円の黒字となり、前月（6月：1,118億円の黒字）から黒字幅が縮小した。熊本地震後減少した九州への訪日客数は回復しつつあるものの、その他地域への訪日客数の伸びが頭打ちとなっていること、一人当たり消費金額が減少していることで、旅行収支はこのところ横ばい圏での推移が続いている。

第一次所得収支～円高の進行に伴い黒字幅縮小傾向が続く

第一次所得収支は1兆6,938億円の黒字となり、前年同月から黒字幅が5,226億円縮小した。季節調整値で見ると、1兆3,781億円の黒字となり、前月（6月：1兆5,219億円の黒字）から黒字幅が1,438億円縮小した。円高の進行に伴い、第一次所得収支の受取（季節調整値）が前月から2,238億円減少したことが主因である。

図表2：国際収支統計の概況（季節調整値）

(億円)	2015						2016						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
経常収支	13,762	16,572	9,493	16,050	15,498	16,458	14,361	16,361	19,007	16,258	14,145	16,484	14,478
貿易収支	▲1,207	▲961	▲1,593	719	1,738	1,103	2,184	2,453	4,318	4,089	3,286	4,658	3,616
輸出	63,467	63,278	62,479	62,362	63,363	60,698	58,888	56,124	55,370	54,638	54,904	56,083	54,563
輸入	64,674	64,240	64,072	61,643	61,625	59,595	56,704	53,671	51,052	50,549	51,618	51,425	50,947
サービス収支	▲1,026	150	▲998	▲1,399	▲494	▲1,427	▲432	375	▲668	▲362	▲982	▲2,148	▲1,074
旅行収支	976	1,078	978	1,004	1,087	1,207	1,396	1,396	1,255	884	977	1,118	1,087
第一次所得収支	17,575	19,263	14,973	18,402	16,373	17,889	14,266	16,047	16,497	14,198	14,017	15,219	13,781
第二次所得収支	▲1,580	▲1,880	▲2,889	▲1,671	▲2,120	▲1,106	▲1,656	▲2,514	▲1,140	▲1,667	▲2,175	▲1,246	▲1,844

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

¹ 詳細は、大和総研レポート「[7月貿易統計～円高で輸出金額が大幅減、米国向け輸出数量は増加](#)」齋藤勉、小林俊介（2016年8月18日）を参照。

